



# 小島友実の あの馬の **STORY**



10月11日・京都・2歳新馬戦 本馬場入場

## ワイドアウエイク

11月10日の福島ダートマラソン戦で  
ゲート入りを嫌がり、なかなか入らなか  
ったハイドアハイド。ヤキモキしながら  
見つめていた方も多いかと思いますが、  
なんとかゲート一回しでスタートを切れ  
からは好位で流れに乗る3着でゴール。  
管理する加用正調教師は「レースの前  
週に行つたゲート練習では問題ながつた  
んですね。前日に競馬場へ移動して一泊  
してからのレースが初めてでしたから、テ  
ンションが高くなつてしまつたのかもしれません。  
牧場ばかりは元々、ダートの方が良い  
との評価でしたからね。一度走って動き  
も良くなつてだし、変わり身を見せてくれ  
れました」と話していました。

加用調教師がこの馬を初めて見たのは  
一昨年の夏。印象をじつ振り返ります。  
「随分、大きな馬だなと思いました。ま  
だ人が乗つての育成に入る前だったから  
ね。ローハングリン産駒だから、スピード  
があつむな印象を持ちました」

2歳の春前までは左後肢の球節に疲れ  
が出やすい時があったものの、大きな怪  
我もなく育成が進み、今年8月末に栗東  
トレセンへ入厩。デビューに向けての調整  
が始まりました。

「ゲート試験は受かったものの、最初の  
頃は大きな体を持つ余し気味で、すぐに  
デビューできぬうつむタイプではない印  
象でした。でも少しづつ追い切つたり動  
きが良化。これなら大丈夫かなと。確か  
に、ダート向きの印象でしたが、ダー  
トへはぐつぐつ転向できますからね。それ  
でまずはド派手に転向できますからね。それ  
た初戦は14着でした。

加用調教師がこの馬を初めて見たのは一昨年の夏。印象をこう振り返り返ります。「随分大きな馬だなと思いました。まだ人が乗つての育成に入る前だったからね。ローハングリン産駒だから、スピードがありそうな印象を持ちました」

2歳の春前までは左後肢の球節に疲れが出やすい時があつたものの、大きな怪我もなく育成が進み、今年8月末に栗東トレセンへ入厩。デビューに向けての調整が始まっています。

11月1日の福島ダート1700メートル戦で  
ゲートへ入る嫌がり、なかなか入らなか  
った(ワイルドアウェイク)。ヤキモキしながら  
見つめていた方も多かったと思いますが、  
なんとかゲートインしてスタートを切って  
からは好位で流れに乗り、3着で1ホール。  
管理する加用正調教師は、「レースの前  
週に行つたゲート練習では問題なかつた  
んですね。前日に競馬場へ移動して一泊  
してからのレースが初めてでしたからテ  
ンションが高くなつてしまつたのかもしれ  
ません。牧場からは元々、ダートの方が良  
いとの評価でしたからね。一度走つて動き  
も良くなついたし、変わり身を見せてく  
れました」と話しておられた。

「出脚が鈍つて後ろからの競馬になり、幸英明騎手は『集中力を欠きハミを取らなかつた。もう少し気合が入つゞめ』と話しておられたね」

レース後は体調などに問題がない続戦する事になつて厩舎で調整。一度使われて、状態は上向いてござりました。

「初戦の後は動き、気合とも一段階化。素軽めも出ましたね。これなり変わった身期待できるかもと感じました。小回りの福島コースなのに、レース前に鰐島克成騎手には『ハナに行かねり』と行き脚をつけて乗れまつ』と指示をしました」

結果は前述した通り、3着。加用師にて戦日のレース内容を改めて、詳しく振返り聞いて頂きました。

「ゲート入りをくねり馬のマンツリーが高くないので、たからい好位に行けたのもあつたしでしょ? ね。ただ、4コーナーを回ったところで外からの寄られとね。ジンジン伸びていただけで、あんまりひし怯えてしまつたのが残念でした。あれがなくて阪神みたじに広いコースだったので、むつ少し上の着順になつて、だと思つます。福島も輸送しての、絞れて、着。結果は出ただけで、ゲートの入りが悪かったのだけが想定外でした。ゲート再審査となつてしまつましたからね」

「よりひま戦日の時はゲートくねりしまつましたが、普段栗東トレーニングではじんな感じなのでしょ? が」

「人間を手にあらうよつた事はしないし、入れ込んだりもしない。馬房では大人しくて扱いやすい馬なんですよ。大きな馬だから、飼葉食いも良いです。今のところ体質や馬体面で不安点は一つもあ

「ガーネ入ったわ」ね、馬のハサウエーが高くなっていたか、好位に行けたものもあつたし、しつね。だが、4コナーを回したものが外から飛られてね。ジリジリ伸びていただけで、あくまで少し怯んでしまったのが残念でした。あれがなくて阪神みたいて広い「ースだつたら、もう少し上の着順になつてしまふ」と思いました。福島へ輸送しての、絞れて着。結果は出たけれど、ゲームの入りが悪かったのだけが想定外でした。ゲート再審査になつてしまふましたからね」

「出脚が鈍つて後ろからの競馬になり、幸英明騎手は『集中力を欠きハミを取りながつた。もう少し競馬が欲しへば』と話しておられたね」

レース後は体調などに問題がない(続戦する事になつて)厩舎で調整。一度使われて状態は上向つてしまはつた。

「初戦の後は動き、啖合とも限化。素軽さも出ましたね。いれなりの変わら身期待できるかわい感じはした。小回りの福島コースなので、レース前に鮫島克駿騎手には『ハサ』に行かねば行え腿を引かれて乗つけて」と指示をしおつた

結果は前述した通り、3着。加用師による戦日のレース内容を改めて、詳しく振返る。頗るまこと。

「ほんと。後肢球節の疲れ、入既してからほんと、こんな症状は一度も出したことないですよ。段々、体がしつかつとして動いてられない事なのじょうね」

「戦田の後は、すべりバー試験を逃げたのは負担が大きいため」ひとくちで判断から放牧へ出で、現在はグリーフカシビで調整され、ヒューリック・ワエイク。  
今後の見通しと期待を伺ふことに。  
「ダートや小回りに対するアドバイスを受けたので、レース選択がしやすくなつたね。この後は、年明けの小倉競馬を目標にして、レースがてあたるのは能力があるからいいでしょ。牝馬だから飼葉食いが跟くて現状、体に不安な点がなくて丈夫じいのも良いと思います。体が大きいのは利点でもあるだけじ、まだ心が入っていない部分がある。背腰がパンとされてもかじ良化しないんじゃないかな。前走が田舎の立派な内容でしたからね。今後はアームを向けてケアを行い、まずは初勝利を目標としてつかう調整をしておきたい。応援よろしくお願いします」

**profile** 競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKIETV「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（主婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬規則他、馬券にはじて競馬規則の解説を行っている。